



中日（青島）地方発展協力モデル区概況



2020年4月27日、国家発展改革委員会許可のもと設立された省エネ環境保護における中日両国唯一の国家レベル示範区

- 始動区は青島国際経済協力区内
- 敷地約10.6km²
- 建築総面積約1200万m²

発展の位置づけ

- 青島の対日開放の新高地
- 山東の日本協力先行区
- 中国長江より北の対日交流橋頭堡
- 中日経済貿易協力メインプラットフォーム

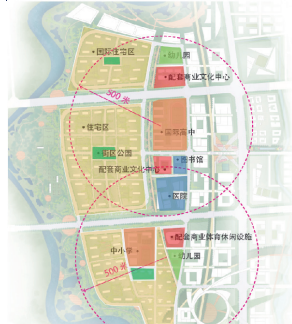
産業発展

- 省エネ環境保護産業発展に智集中
- 技術イノベーション、製品開発、ハイエンド製造などの協力を強化

日本式の生産・生活環境

日本三菱地所設計によるコンセプト計画編制をし、中日文化特徴を含む都市空間と景観を打ち出す

日本式の住居環境



小町微ライフ、歩行優先の慢道網

歩行距離半径500m内に常生活に必要な学校、病院、公園、体育施設などの住居施設を配置

マルチな近所関係

200~300世帯を一ブロックとして、中央公園を中心とする集合住宅を建設

日系企業の発展に最適



フレックス規模の生産エリア

小規模工場、リース型工業及び大型工場の産業発展シティの各ニーズに応える



日本の先端環境技術を導入

日本の持続可能な防災都市システム、連動高効率エネルギーシステムなどを導入

仕事に便利な環境

日本食レストラン、運動施設など従業員の生活に便利で快適な環境を作る

交通メリット



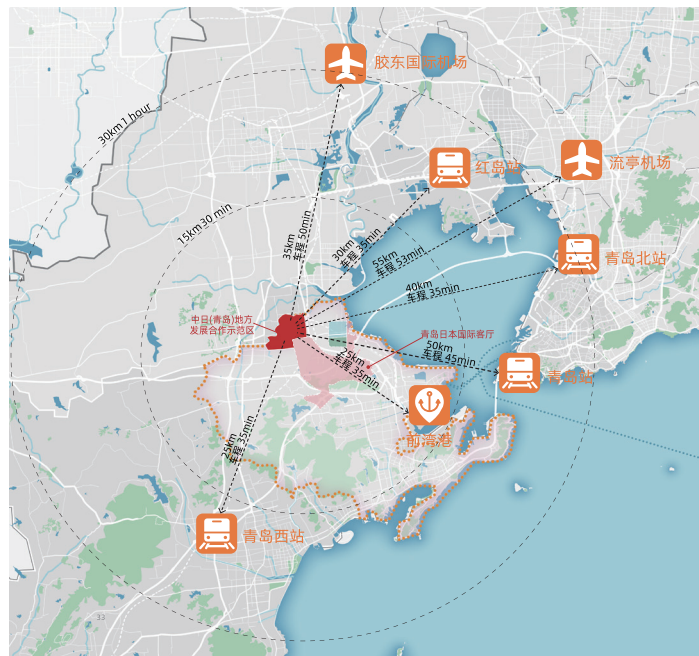
- 世界第六大港——青島港，園区から25km
- 2019年に完成貨物取扱量6億トン，コンテナ取扱量2101万TEU



- 「一帯一路」貨物運輸ハブ
- 青島西駅より25Km
- 鉄道二本、高速道路二本が園区を經由



- 4Fレベル膠東国際空港より35Km
- 157本国内線，27本国際線



発展ビジョン

一年でスタート、三年で形を成し、五年で城になる

2025年

インフラ施設配置基本完成

>200社

イノベーション型企業入居

3.5万人

就職創業人工

>350億元

工業生産総生産値